



大石田中学校の入学式が4月6日(日)に行われました。新しい制服を身にまとった75名の新入生は、緊張や期待、不安が入り混じった面持ちで式に臨んでいました。

広報 **おおいしだ**
http://www.town.oishida.yamagata.jp

今月のページ

- ▶ 大石田ひなまつりが開催されました... 2
- ▶ 民生委員・児童委員はあなたの地域の相談相手... 4
- ▶ 図書室コーナー..... 6
- ▶ ニュース玉手箱..... 8
- ▶ お知らせ..... 10

※平成26年度 大石田町職員配置 折込

4 2014
No.694

おいしだ ものがたり

最上川の流れとともに...



そうまち **惣町大石田**

9. 出羽三山参詣と大石田

(4) 町営から請負制へ

年代を経るごとに参詣者が減少する。元禄年間からみると文化年間は5分の1である。このような減少傾向は全国の寺社にも見られる。ところで導者による利益はどれほどあったのだろうか。例とし寛政5年の導者目録によると、導者数は5,238人である。この内宿泊・乗船した数は4,105人、総収入761貫文である。この収入から諸経費を引くと、約214貫となり町の利益となる。この214貫文を金貨の両になおすと、この年の両替え1両が銭5貫600文であるから約38両となる。この当時は小判1枚(1両)を盗むと首がとぶといわれ、庶民生活には金貨は縁がないといわれたものである。当時水夫の1年間の契約金は1両相場であった。この年の米相場は1升約40文であるから、米になおすと53石5斗、約134俵となる。これらの収入に目をつけ、通路変更や請負希望者などが出てきた。多くの導者があれば問題がおこらないが導者減少はいかんともしようがなかった。元禄年間頃は「導者船」とよんでひらた船を利用してと思われるが、明和期になると導者船の名がなくなり、3人・2人乗りの船にかわった。つまり小型の船に変わったのである。しかし小型の船でさえも乗船定数の20人が集まらず船待ちさせ、すぐ船下りをしたいといえれば増運賃を取り運航し、船の経営を維持したものである。しかし客数の減少は船の維持さえ困難になっていく。これらの根本的な原因はいかんともしがたく、対策はたてたが年々の減少は止めようもなく、町営の意味を失ってしまう。つまり収入の減少は惣町運営費の不足であり、今でいう会社の経営が成り立たなくなったのである。

文政2年以降は11貫文の定額で請負制となり、天保年間には「導者目録」の帳簿もなくなり、「町目録」に請負銭4貫文としてのみ記載されるようになる。すなわち町目録1本の財政運営となるのである。

天保2年 町目録 御大名様方御通行

津軽左近将監様 昼詰 戸沢大和守様 宵2夜 津軽越中守様 宵詰
六郷兵庫守様 昼詰 佐竹右京太夫様 前後 岩城伊予守様 宵詰
酒井左衛門尉様 宵詰

大名行列の場合行列の諸荷物を運ぶ義務が百姓にあった。助郷といいい決められた場所に集まり次の宿場まで荷物を運んだ。

導者目録によると、収入項目は5項目に分かれており、そのうち「役下」が収入の主なるものであった。

寛政5年5,238人(合計)		餚(食事か)
役下	4,105人	旅籠・乗船セット、主たる財源
無餚陸路	82人	食事なし、翌朝徒歩、宿泊のみ
陸通	106人	大石田を通路・旅籠・乗船なし
無餚	742人	乗船のみ、料金90文か
無	203人	素通り、収入なし

執筆者：清水 助太郎 氏

先月号で予想したとおり、今年度も大石田町の人口は減少傾向にあります。平成26年4月1日現在の町人口は7,862人です。出生は2人、死亡は8人です。転入は35人、転出は56人です。この数字は外国人も含めた数字です。

町の人口 平成26年4月1日現在

世帯数	2,389戸 (+8)
総人口	7,862人 (-27)
男	3,845人 (-12)
女	4,017人 (-15)
(3月中の異動)	
出生	2人
死亡	8人
転入	35人
転出	56人